

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	五日市児童スタークラブ		
○保護者評価実施期間	R7年12月15日		～ R8年1月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41 (回答者数)	25
○従業者評価実施期間	R7年12月15日		～ R8年1月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14 (回答者数)	14
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	全体が見渡しやすく、安全に見守りができている	お友達や他者との関わりを持って楽しく過ごせるよう、いろいろな児童を巻き込んで遊べる工夫をしている	余暇の過ごし方が難しい児童の充実できる環境作り
2	狭い環境の中でも、いろいろな道具を使うなどして体を動かす事ができている	手先の活動を取り入れながら、個々に合ったレベルの課題を作って取り組んでもらっている	学校の先生などとも情報共有しながら、個々に合った課題の提供
3	児童のやりたいことをできるだけ優先した余暇の過ごし方ができている	保護者や児童のニーズを大事にしながら、楽しく目標に向かって取り組める課題設定をしている	マニュアルやホームページなどの保護者への周知

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	小さな事業所で大きな動きが難しい	運動の好きな児童の利用が難しく実際事業所内で体を動かして過ごすのが難しいことがある	時間を決めるなどして、思い切り体を動かせる時間を取り入れていく
2	部屋が少なくクールダウンする場所がみつけない	泣いてしまう児童や、荒れてしまった児童を別の部屋などで対応することが難しい	事務所での対応が主になるが、少し外に出たりなどで気持ちを切り替えるなどの工夫をしていく
3	活動の支援の安定さ	日々の取り組みで支援の仕方が異なる部分での違和感がある	支援方法を職員全体に共有して、安定した支援ができるようにしていく